

平成26年度

# ふくおか教育論文

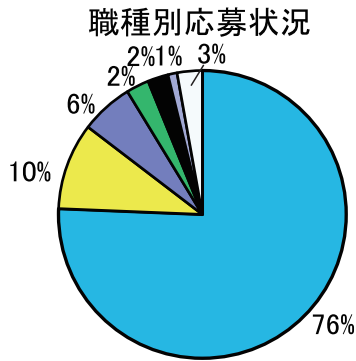
主催 福岡県教育委員会  
共催 公益財団法人福岡県教育文化奨学財団

## 作品集

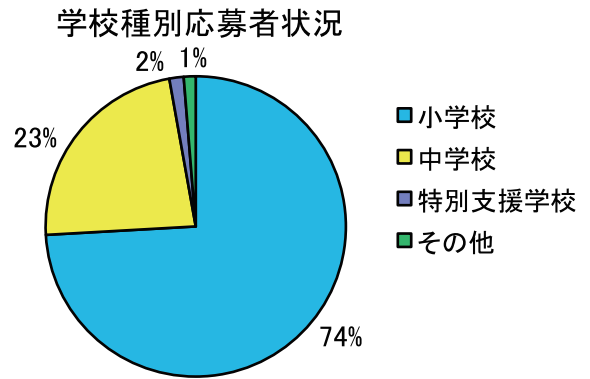
福岡県教育委員会では、「ふくおか教育論文」の募集により、教育関係者の資質向上を目指すとともに、優れた実践とその成果を広く普及・啓発することを通して、本県教育の振興・発展を図っています。

## 平成26年度「ふくおか教育論文」応募状況

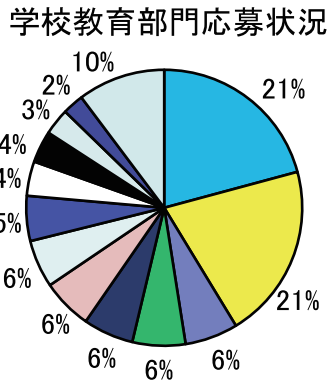
平成26年度応募総数 390点



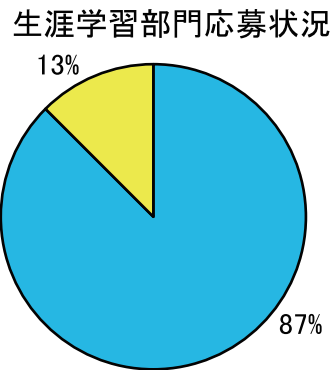
- 教諭
- 主幹教諭
- 教頭
- 講師
- 養護教諭
- 校長
- その他



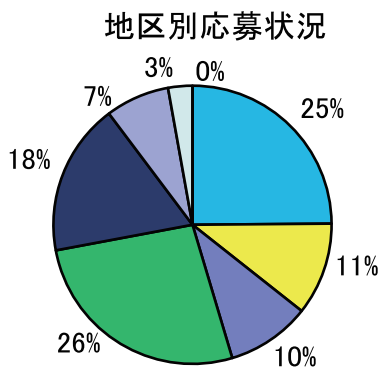
- 小学校
- 中学校
- 特別支援学校
- その他



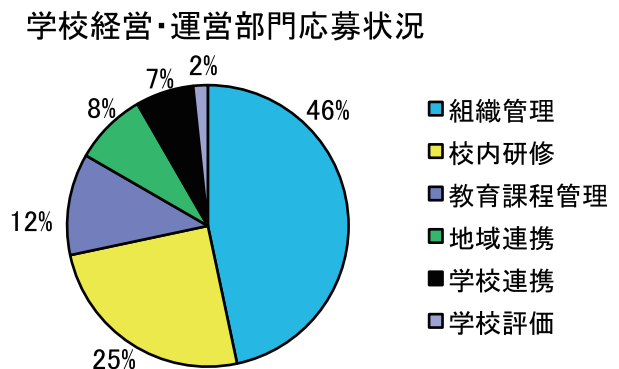
- 算数・数学
- 国語
- 社会
- 特別活動
- 体育・保健体育
- 道徳
- 理科
- 特別支援教育



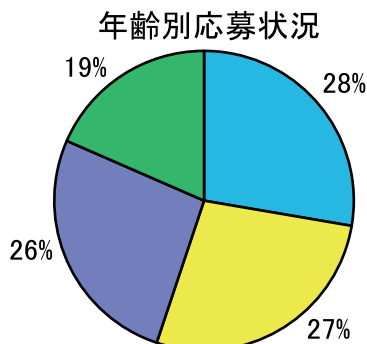
- 学校対象
- 社会人対象



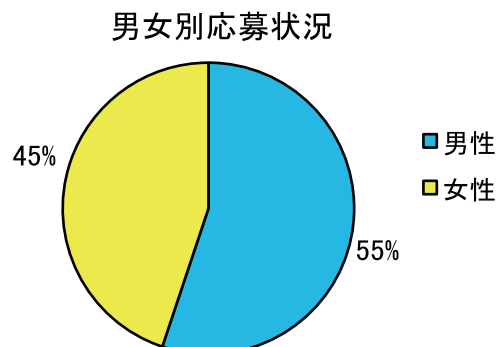
- 福岡
- 北九州
- 北筑後
- 南筑後
- 筑豊
- 京築
- 県立他
- 政令市



- 組織管理
- 校内研修
- 教育課程管理
- 地域連携
- 学校連携
- 学校評価



- 20代
- 30代
- 40代
- 50代以上



- 男性
- 女性

# 平成26年度「ふくおか教育論文」入賞者

## 【優秀賞】

子どもたちの相互作用で活用する力を高める算数科学習指導	大川市立宮前小学校	教諭	山口 寿穂
よりよい生活づくりを楽しむ子どもが育つ学級活動	大牟田市立みなと小学校	教諭	千井 あゆみ
積極的な生徒指導を推進するための組織運営	糸島市立南風小学校	主幹教諭	三宅 孝一
生徒の多様な教育的ニーズに応える教頭の校務運営の実践	那珂川町立那珂川中学校	教頭	柴田 恭子

## 【優良賞】

自他の生命を尊重する子どもを育てる性に関する学級活動の学習指導	大野城市立御笠の森小学校	教諭	新田 聖
規範の価値を見だし「行動化」につなぐ子どもを育てる道徳教育の一考察	八女市立長峰小学校	教諭	岡 小百合
主体的にテキストにかかわり、読む力を高める第5学年国語科「読むこと」の指導	大任町立大任小学校	教諭	有竹 真吾
運動を楽しみ、児童の体力向上をめざした体育科学習指導の在り方	みやこ町立犀川小学校	教諭	坪根 慎治
子ども達の生きる力を育む地域主体による教育活動	広川町教育委員会	嘱託職員	貞苺 えり子
協働し、組織的にすすめる校内研修	柳川市立矢ヶ部小学校	教諭	野間口 美奈子

## 【佳作賞】

数学的な思考力・表現力を育てる数学科学習指導	大野城市立大野東中学校	教諭	平田 裕樹
よりよい生き方を追求する子どもを育てる道徳教育	宇美町立原田小学校	教諭	串崎 厚子
子どもが進んで歯と口の健康に取り組む保健指導	鞍手町立新延小学校	養護教諭	秋吉 真江
豊かな言語感覚を養い、古典への関心・意欲を高める指導の在り方	遠賀町立遠賀中学校	主幹教諭	原田 浩憲
確かな学力を育む算数科学習指導	水巻町立猪熊小学校	教諭	氏本 射須身
スマホの脅威から子どもの生活権や学習権を守る教育活動の創造	うきは市立吉井中学校	教頭	笠 一生
地域的特色を論理的に説明する力を育てる社会科学習指導	朝倉市立甘木中学校	教諭	山田 泰生
日本文化を発信する力を養う英語科学習指導法の研究	八女市立立花中学校	主幹教諭	大塚 昌廣
生徒が主体的に活動する学校美術館プロジェクト	みやま市立山川中学校	主幹教諭	弥永 隆広
操作、図、式を関連付けて表現する子どもを育てる第1学年算数科学習指導	筑後市立筑後小学校	教諭	杉本 文音
望ましい人間関係を築く児童を育む高学年特別活動	福智町立上野小学校	教諭	中原 正文
思考力・表現力を高める算数科学習指導の在り方	添田町立真木小学校	教諭	宮村 歩
学習意欲を高め「確かな学力」を育む体育の学習指導	嘉麻市立確井中学校	主幹教諭	梶山 太
生活実践力を育てる家庭科学習における評価の在り方	行橋市立行橋小学校	教諭	萱野 加奈
家庭の教育力の向上と学校の教育活動の支援を図るPTA活動の推進	飯塚市立穂波東中学校	教頭	古野 守和
コミュニティ・スクールの組織的推進を促す教頭の役割	春日市立春日野中学校	教頭	江口 尋信
教職員のチーム力を高める教務運営の在り方	那珂川町立那珂川南中学校	主幹教諭	藤田 天平
重点目標を具現化する主幹教諭の教務運営	小郡市立のぞみが丘小学校	主幹教諭	小屋松 和行
重点目標「自分の考えをもち、友だちに表現できる子どもの育成」をめざす教育課程経営のあり方	みやま市立上庄小学校	教諭	福山 恵里佳

## 【奨励賞】

子どもが数理的な処理のよさを味わう算数科学習指導	筑紫野市立原田小学校	教諭	田中 智史
資料を活用する力を育てる社会科学習指導	志免町立志免中央小学校	教諭	宮原 翔太
読みの力を高める第1学年国語科学習の指導	直方市立直方北小学校	教諭	松田 梢
子どもの思考力・表現力を高める理科の問題解決学習の在り方	水巻町立伊左座小学校	教諭	永田 大修
正しく読み解き、表現することができる子どもを育てる第三学年国語科学習指導	朝倉市立杷木小学校	教諭	柿添 真彦
くり上がり・くり下がりのある計算が確実にできる子どもを育てる算数科学習指導	小郡市立のぞみが丘小学校	教諭	前山 沙紀
目標をもって協力する子どもが育つ学級活動	柳川市立藤吉小学校	教諭	跡部 裕美
健康な生活に向けて意欲的に取り組む子どもを育てる保健指導	大牟田市立倉永小学校	養護教諭	金縄 夕里奈
生徒の所属感を高める第2学年2組の学級活動の在り方	田川市立鎮西中学校	教諭	櫛 光知子
確かな読みの力を育む第1学年国語科説明的文章の学習指導	糸田町立糸田小学校	教諭	國本 裕司
楽しんで表現する子どもを育てる国語科学習指導	菊田町立馬場小学校	教諭	永水 聡史
肥満傾向にある生徒Aが軽運動を持続する指導の在り方	福岡県立太宰府特別支援学校	教諭	石丸 祥子

# 平成26年度「ふくおか教育論文」優秀賞作品紹介

## 子どもたちの相互作用で活用する力を高める算数科学習指導

### 数学的なコミュニケーション活動の工夫を通して



大川市立宮前小学校  
教諭 山口 寿穂

こんな手立てによって…

数学的なコミュニケーション活動の工夫  
Ⅰ：問題設定の工夫  
Ⅱ：活動構成の工夫  
Ⅲ：協同的な学び方の積み上げの工夫

こんな成果があった！

○他者との相互作用によって表現と読解・解釈を関連づけることができた。  
○条件思考、状況思考によって活用する力が高まった。

### 1 考えた

これまで、活用する力を育成する学習指導の実践を行ってきたが、効果的な指導方法の開発までには至らなかった。そこで、本研究では、小学校算数科において、活用する力を高めるための数学的なコミュニケーション活動（他者と数学的表現を使ったやりとり）に焦点をあて、子どもたちの相互作用を取り入れた授業改善の在り方を究明しようと考えた。

### 2 やって見た

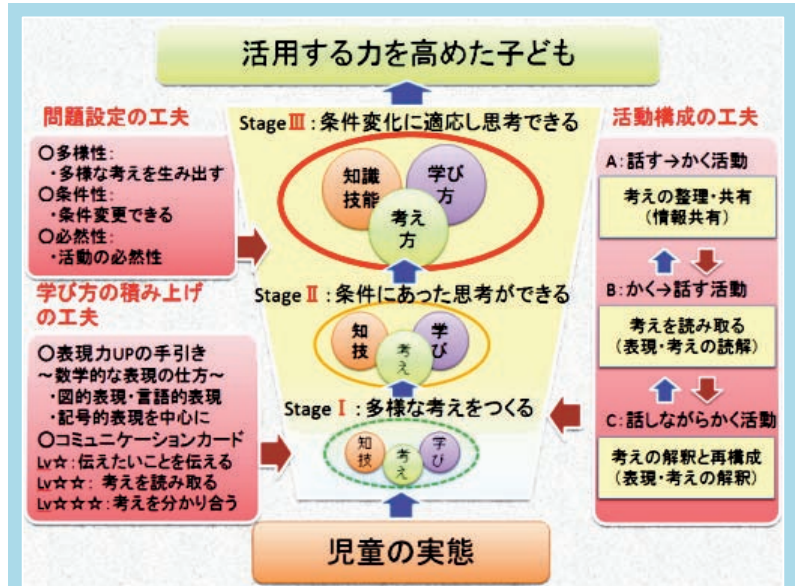
本研究では、「考えの表現」と「考えの読解・解釈」を関連付けるための「数学的なコミュニケーション活動」を円滑に行わせるために、「問題設定」、「活動構成」、「学び方の積み上げ」の3つの工夫を行い、第5学年「分数」〔検証Ⅰ〕と「面積」〔検証Ⅱ〕の2つの単元で、その手立ての有効性を検証した。

### 3 成果があった！

「数学的に表現すること」と「考えを読解・解釈すること」の両者を関連させるための「数学的なコミュニケーション活動」を取り入れた授業展開をすることで、子どもたちの相互作用によって、他者とのやりとりの中から見方・考え方を生み出し、条件思考や状況思考を促進し、活用する力を高めることができるという検証結果を得ることができた。

段階	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ
「知識・技能」の側面	習得した学習内容と関連付けて、新しい見方・考え方のもとに知識・技能の獲得をすることができる	数学的な知識・技能を 数学的な知識・技能を 一般的で柔軟な知識・技能の獲得	確実に身に付ける → 適応できる →
「考え方」の側面 (中核となる要素)	条件変化や状況変化に適応して、条件にあった思考や状況にあった思考をすることができる	多様な考えを 条件にあった思考が 条件や状況に適応	つくることのできる → できる → して思考できる
「協同的な学び方」の側面	他者との数学的なコミュニケーションを使って、考えの読解や解釈をすることができる	話したことをかき 聞いたことを話して 話しながらかき	考えを整理・共有する → 考えの読解をする → 考えの解釈をする

【資料1 活用する力の高まり】





# 平成26年度「ふくおか教育論文」優秀賞作品紹介

## よりよい生活づくりを楽しむ子どもが育つ学級活動

## 思いや願いを膨らませる活動構成を通して



大牟田市立みなと小学校  
教諭 千井 あゆみ

こんな手立てによって…

活動Ⅰでの話し合いの内容や実践を基に議題化したことを、活動Ⅱで話し合い、実践するという活動構成を仕組み、思いや願いを連続・発展させた。

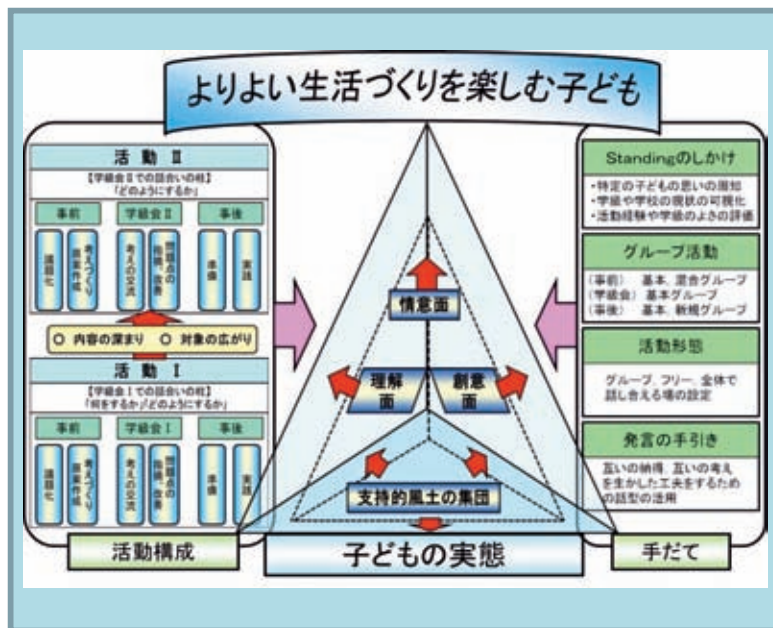
こんな成果があった！

よりよい学級や学校をつくりたいという意欲をもち、問題を解決できる考えを創り出しながら活動に取り組む子どもたちの姿がみられた。

### 1 考えた

第2期教育振興基本計画における「自立」「協働」「創造」の三つの理念から、自分たちの生活をよりよくする集団活動に参画し、工夫しながら生活を改善していくことで、主体的に問題を解決していく力を高めることが必要であると感じている。しかしながら、学級や学校生活を自分たちでよりよくしようとする意欲やその方法が高まっていないことが現状である。

そこで、学級活動(1)において、関連した議題からなる活動Ⅰと活動Ⅱを位置付けた活動構成を仕組むことで、生活をよりよくする意欲をもち、問題を解決する考えを見いだして実践することができるようにしたい。それを通して、問題解決の方法を理解したり、自分たちの活動のよさを実感したりし、更に次の問題解決を自発的、自治的にできる子どもを育てたいと考えた。



【資料 研究構想図】

### 2 やって見た

事例Ⅰでは、活動Ⅰ「学級の歌の歌詞づくり」→活動Ⅱ「歌い方の工夫」と、内容に深まりをもたせた議題、事例Ⅱでは、活動Ⅰ「学級の体力アップの取組」→活動Ⅱ「スポーツタイムでの下級生との取組」と、対象の広がりをもたせた議題を実践した。活動Ⅰにおいて、グループでつくった考えの問題点を指摘し、改善できる考えを創るという活動過程で話し合いや実践を行った。そして、同様の活動過程で、活動Ⅰから議題化した活動Ⅱを行うことで、活動Ⅰでの話し合いの仕方や考え方が生かされ、問題を解決できる考えを創り出すことができた。このような積み重ねにより、子どもたちは、学級目標の実現に向かっていると感じていた。

### 3 成果があった！

活動Ⅰ、Ⅱでの以下の四つの手立てが、思いや願いを継続・発展させることに有効だった。

議題化する際、写真やアンケートの提示、実践や子どもの思いの価値付けをしたことで、思いや願いを強くし取り組むことができた。また、グループ活動を配置することにより、一人一人が責任をもって役割を果たし、活動の活性化につながった。更に、グループやフリー、全体での話し合いをさせたことで、グループの考えや試しの活動から、問題点や改善案を見いだすことができた。加えて、発言の手引きで、発言内容や方法を把握させたことで、互いが納得する根拠を示したり、互いのことを思いやった表現をしたりすることができた。

# 平成26年度「ふくおか教育論文」優秀賞作品紹介

## 積極的な生徒指導を推進するための組織運営

相談委員会を核とする有機的連携と教育相談機能の活性化を通して



糸島市立南風小学校  
主幹教諭 三宅 孝一

こんな手立てによって…

主幹教諭がコーディネーターとなり、本校の根幹をなす相談委員会を常設し、教育相談機能も最大限に生かしながら、困り感をもつ児童の解決ルートを焦点化して対応した。

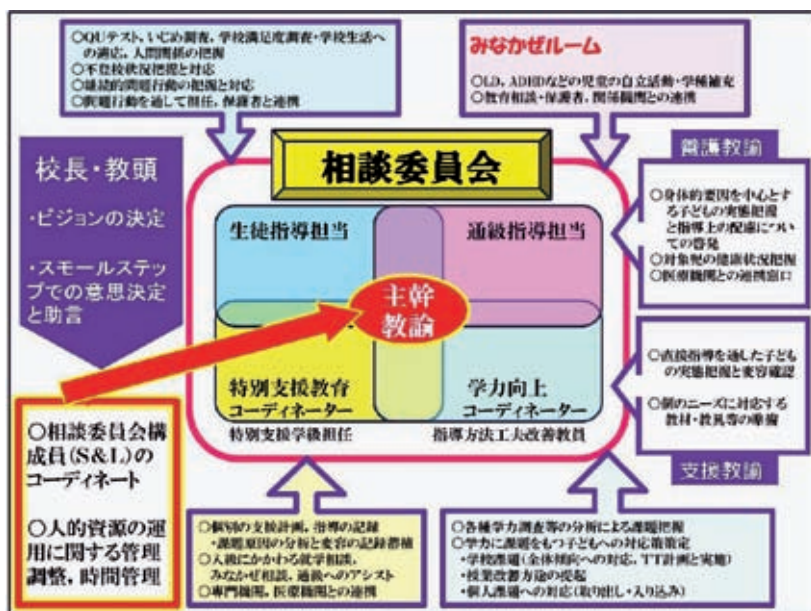
こんな成果があった！

週単位月単位でのPDCAサイクルを基本とする相談委員会を組織として定着させることができた。また、不登校児童を皆無にし、不登校傾向の児童も大幅に減少することができた。

### 1 考えた

平成25年度に主幹教諭の職を拝命することになったが、本校赴任4年目になりながら、これまでずっと課題が山積みしている不登校児童の対応について、組織として確実なアクションを起こしたいと考え、本主題を設定した。校長も、不登校対応をめぐる本校の課題を「組織の最優先課題」と位置付けられ、「組織的対応無しには、解決し得ない課題」と提言された。

これは、「不登校児童にどう対応するか」ではなく、「不登校児童に対応できる組織をどうつくるか」が喫緊の課題だった。そこで、相談委員会を定期的に位置付け、教育相談の機能を最大限に生かしながら、評価を重視したPDCAサイクルを重視した。困り感をもつ児童に即対応できる積極的な生徒指導を推進するための組織を定着させたいと考えた。



【資料 相談委員会の構成と各担当の役割】

### 2 やって見た

ショート相談委員会とロング相談委員会を定期的に位置付け、困り感をもつ児童の短期・中期・長期的な目標を協議し、その具体的な支援を継続した。また、主幹教諭が週間動態表を毎週作成し、いつ誰がどの児童の支援にあたるのかを明確にしたり、相談委員会における情報の共有や支援策の共通理解を全職員に徹底したりした。そして、通級指導担当者の経験を生かし、保護者にとって垣根の低い教育相談の場を数多く設定し、他の連携機関とも情報を共有しながら、支援方を練り実践した。なお、支援対象児童の個票「みなかぜカード」を作成し、指導支援の経過や引継ぎを確実なものにした。

### 3 成果があった！

短期・中期・長期的な目標と具体的な支援を協議・実践する相談委員会を組織として定着させ、教育相談機能を活性化することで、いじめや不登校等の未然防止や早期発見早期対応に効果を上げることができた。また、教職員評価でも多大な効果があったと確認され、年度末には不登校児童が皆無となり、不登校傾向児童も大幅に減少させることができた。



# 平成26年度「ふくおか教育論文」優秀賞作品紹介

## 生徒の多様な教育的ニーズに応える教頭の校務運営の実践

### ユニバーサルデザインの視点に立った環境づくりを通して



那珂川町立那珂川中学校  
教頭 柴田 恭子

こんな手立てによって…

ユニバーサルデザインの視点に立ち「個別的配慮」「指導方法」「学級環境」「学校環境」「地域環境」の5つの環境づくりを行った。

こんな成果があった！

- ・困難を感じている生徒の教育的ニーズに応えることができた。
- ・だれもが分かりやすい授業となった。
- ・全ての生徒が充実した学校生活を送る環境が整ってきた。

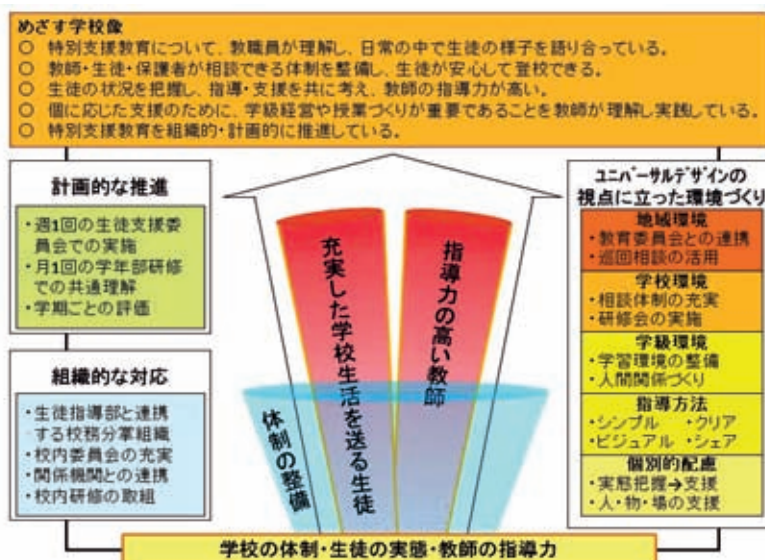
### 1 考えた

本校には学校生活や学習に困難を感じている生徒が多数在籍していた。そこで、「通常学級におけるユニバーサルデザインの授業」を進める必要性を感じた。また、その支援を学級全体に広げることで、どの生徒にもわかりやすく、生活しやすい支援となる。さらに、授業だけでなく、その生徒を包み込む環境を整備することで、対象の生徒以外の生徒も含めた多様な教育的ニーズに応えることができると考えた。

(資料1)

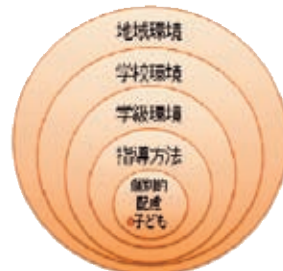
### 2 やって見た

全ての生徒が充実した学校生活を送ることができる学校をめざして、ユニバーサルデザインの視点に立った環境づくりを行うために、小池悟氏が提案する「特別支援教育における包み込むモデル」(資料2)の5つの環境づくりを視点に次の実践をした。



【資料1 研究構想図】

個別的配慮	教育的ニーズを把握するための助言	専門家を招聘した研修会の実施
指導方法	シンプル・クリア・ビジュアル・シェアの視点でつくる授業への助言	
学級環境	学級の整備	人間関係づくりの指導
学校環境	組織の見直し	校内委員会の充実
地域環境	関係機関との連携	巡回相談等の活用



【資料2 「包み込むモデル」小池 悟2010】

### 3 成果があった！

画一的な授業から、生徒の実態を捉え、教育的ニーズに応えようと指導方法を協議したり、助言を聞いたことで、教師の指導技術が向上すると共に、わかりやすい授業となった。また、生徒を包み込む環境を整える事で、支援を要する生徒の困難さが軽減されると共に、他の生徒も充実した学校生活を送ることができるようになった。さらに、生徒の教育的ニーズに応えるためには、組織的・継続的に進める事が重要であることを再認識できた。

# 論文作成に当たって

今後の教育論文作成に当たり、以下のことを参考にしてください。

## 平成26年度「ふくおか教育論文」の応募部門と応募資格

### 募集部門

平成26年度は、次の3部門を募集しました。

- 「学校教育部門」  
教科指導、生徒指導、進路指導、部活動指導等に関する課題
- 「生涯学習部門」  
社会教育、地域コミュニティづくり、家庭教育、ボランティア活動等に関する課題
- 「学校経営・運営部門」  
学校等の経営や運営に関する課題

### 応募資格

平成26年度の応募資格は次のとおりでした。

- ① 県内の公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校及び中等教育学校の職員
- ② 県教育委員会、市町村教育委員会の所管する教育機関の職員及び他部局の所管する公民館等の職員  
ただし次の者を除く。
  - ・県教育委員会、市町村教育委員会の指導主事
  - ・県教育委員会本庁の社会教育主事
  - ・学校及び団体

## 教育論文を作成する際の留意点

教育論文を作成する際には、次の点に留意してください。

- ① 何を研究したいのかが、はっきりしている。
- ② 研究主題から研究仮説、仮説実証のための具体的手立てまでの構想に一貫性がある。
- ③ 研究に堅実に取り組み、適切に実践を行い、データ処理、分析・考察及びまとめにつなげている。
- ④ データに基づいた説明や考察が分かりやすく示されている。

## 平成22年度以降の優秀作品の主題と副主題

- 動きのイメージを具体化する子どもを育てる体育科学習指導  
～動感交信能力を旺盛にするフィードバック活動を位置づけた単元構成の工夫を通して～
- 子ども自らがストレスをマネジメントする力を育てる保健教育  
～養護教諭のコーディネート機能を生かした計画的・専門的・協働的な支援・指導を通して～
- 物語文を読むことの基礎・基本を活用する力を育てる国語科学習指導  
～二段階の言語活動の工夫を通して～
- 思考力、判断力、表現力を育てる第6学年国語科「読むことの指導」  
～単元を貫く言語活動を展開するための工夫を通して～
- 数学的な思考力・表現力を高める算数科学習指導  
～根拠を共有する交流活動の工夫を中心に～
- 学力の三要素を身につけた子どもを育てる家庭学習の取組  
～高学年における個に応じた家庭学習プログラムの実践を通して～
- ことばの発達に遅れのある子どもが話すことを楽しむ通級指導の在り方  
～個別の指導プログラムを活かした「話すこと・聞くこと」の指導における問題解決的な活動の構成を通して～
- 教職員の協働意識を高め、学校力を発揮させる教頭の役割  
～小規模校におけるマトリクス組織の活用を中心に～

「義務教育課各種資料のページ」には、募集要項、論文のテンプレート、応募票や平成22年度以降の優秀賞及び優良賞作品を掲載しています。教育論文作成の参考に御活用ください。

義務教育課各種 **検索**

<http://gimu.fku.ed.jp>